

《担当者名》 塚本 容子 yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp 山田 拓

【概要】

近年社会的にも問題となっている、医療関連感染を予防・管理するために必要な知識・技術を学ぶ。
4年次の講義であるため、看護師として臨床現場で遭遇する場面を想定した実践的な感染予防対策を習得することを目標とする。

【学修目標】

1. 患者安全における医療関連感染について知り、そのリスクを理解できる
2. 手指衛生の重要性を理解し、正しい手指衛生を実施できる
3. スタンダードプリコーションを理解し、よく遭遇する臨床場面での必要となる個人防護具（手袋、ガウン、マスクなど）の選択ができる。
4. 経路別（空気・飛沫・接触感染経路）感染予防策について、医療施設で問題となる微生物（特に多剤耐性微生物）の特徴を理解し、適切な対策をとるための基礎的知識を理解できる。
5. 中心静脈カテーテルに関連した血流感染のリスク、予防方法について理解できる。
6. 尿路カテーテル留置に関連した尿路感染症のリスク・予防方法について理解できる。
7. 手術部位感染症のリスク・予防方法について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義についてのガイダンス 本講義の0verview	・目的・目標の確認、課題について ・医療関連感染予防概論 ・感染予防に携わる専門職：認定看護師と専門看護師の役割、その他職種の役割	塚本 山田
2	スタンダードプリコーション：基礎編	・スタンダードプリコーションの概要（必要とされた背景、1980年代のHIVパンデミック、スタンダードプリコーションの定義） ・医療関連感染における手指衛生の重要性 ・臨床現場において手指衛生が行われない理由 ・適切な手指衛生方法についての演習 ・正しい手袋着脱方法	塚本 山田
3	スタンダードプリコーション：実践編 個人防護具の選択	・医療施設でよく遭遇する場面を想定した適切な個人防護具の選択についての演習	塚本 山田
4	スタンダードプリコーション：実践編 血液・体液曝露時の対策	・血液・体液曝露時の対応についての基礎的知識の学習 ・実際に末梢静脈カテーテルを挿入する過程を体験しながら、針刺し損傷予防についての技術演習	塚本 山田
5	尿路カテーテル留置に関連した尿路感染症のリスクとその予防	・尿路カテーテル留置に関連した尿路感染症のリスクとその予防方法 ・予防方法の演習	塚本 山田
6	中心静脈カテーテルに関連した血流感染のリスクと予防方法	・中心静脈カテーテルに関連した血流感染のリスク、予防方法 ・中心静脈カテーテルのドレッシング交換の演習	塚本 山田
7 ） 8	プレゼンテーション	手術部位感染に関しての課題についてパワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う	塚本 山田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

毎回講義時に行うQuiz 70%

プレゼンテーション 30%

【教科書】

都度、プリントを配布する。

【参考書】

大久保憲編集（2015）感染対策に必要なガイドライン これだけは！：はやわかりレビュー！看護師・研修医必携（インフェクションコントロール2015年臨時増刊）メディカ出版

【学修の準備】

次の講義時まで事前に学習しておいて欲しい内容については、毎回の講義時に伝える。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3

【実務経験】

塚本 容子（看護師、保健師）

山田 拓（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、臨床現場で遭遇する場面を想定しながら、実践的な感染予防対策について学生に教授する。